

いのちの
みやざき

文・写真／宮崎雅子

見える身体、見えない身体

臨月のおなかは 美しい曲線を描き 大地の上に 存在する

そこには もうひとつのいのちが 宿っている

妊婦の見える身体と 見えないもうひとつの身体

ふたつが寄り添い 次の世代に いのちを繋げてゆこうとしている

妊娠のしくみは ダイナミックな宇宙の法則にも似ている

身ごもり 産むこと 育てること

花のように 鳥のように 魚のように

見える身体と見えない身体は 互いに 天地のリズムを奏でている



みやざき まさこ

写真家。写真集に『NICUのちいさないのち』（メディカ出版）、『胎動』（シヨパン）、共著書に『いのちを産む』（学研）、DVD『いのちの訪れ』（UTE-KIANI）など。出産や赤ちゃんなどのいのちをテーマにしたドキュメンタリー写真を撮り続けている。連載をまとめた写真集『Mother』（医学書院）を昨年11月に出版。